

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年2月24日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから2月24日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1の原子力規制委員会のところの（2）ですけれども、3月1日に臨時会議として関西電力の経営層との意見交換があります。ウェブ形式で、関西電力側は森社長ほかに参加されます。

次が、2月28日の（2）ですけれども、特定兼用キャスクの型式証明の審査会合です。

議題は1つで、日立造船の型式証明ということになります。

次が、2月28日の（3）ですけれども、第1118回審査会合です。

議題は1つで、泊3号機の許可ということで、今回は重大事故対策などということになります。

次が、3月2日の（5）第1119回審査会合です。

議題は1つで、島根2号機の設工認ということで、前回2月7日に続き耐震設計などについてということなのです。

次が、3月2日の（6）第1120回の審査会合です。

これは特定重大事故等対処施設が議題になりますので、非公開となります。

議題は2つで、1つ目が柏崎刈羽7号機の設工認で、これは1月30日に申請があって、今回が初回で概要を聞くというもの。

2つ目が、伊方3号機の火災感知器バックフィットの設工認ということになります。

次が、3ページ目ですけれども、3月3日の（7）核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は1つで、日本原燃の関係施設の標準応答スペクトル、震源を特定せずの関係ということになります。

この件では、去年の4月に基準地震動が追加されたところですが、今回は地盤斜面の安定性についてということなのです。

次が、3月3日の（8）第1121回審査会合です。

議題は1つで、志賀2号機の敷地内の地質構造についてということで、前回9月16日とか10月に現地調査を行いまして、その際のコメントへの回答があるとともに、敷地内の話

については今回でまとめとなる可能性があります。

次が、4のその他のところですけれども、3月3日と3月6日に柏崎刈羽の追加検査の一環として、本社と現地の発電所でそれぞれ関係者からの聞き取りを行います。本社では小早川社長ほか、現地では稲垣所長ほかから話を聞くこととなります。発表のとおり、聞き取りの冒頭部分と終了後の規制庁側からのぶら下がり取材が可能になっています。

こちらからは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

エンドウさん。

○記者 新潟日報のエンドウです。よろしくお願いします。

今ほどの柏崎刈羽の追加検査の関係で伺います。

検査自体も大詰めを迎えていると思うのですけれども、この時期に社長と発電所長に話を聞く狙いについて教えてください。どのようなことを確認したいと思っているのかということについても教えてください。

○黒川総務課長 これまで追加検査の一環として、東京電力のいろいろな方から話を聞いてきましたけれども、最後のまとめといたしますか、最後、総括的に社長と稲垣所長から話を聞くということになります。中身は、どれについてということというよりは全般的にということになるかと思えます。

○記者 ありがとうございます。

そのことを踏まえて、今ほど、最後のまとめという話もありましたけれども、検査全体の今後のスケジュールについて、改めてどうなっているか確認させてください。

○黒川総務課長 委員長がこれまでおっしゃっていることと特に変わりはないですけれども、全委員が現地を見られましたので、一度現時点で公開の委員会で議論をするということになります。これも遠からず行われることになると思えます。

その後、これは直接追加検査とは関係ないですけれども、3月中に東電から報告書が出てくると聞いています。恐らくそれより後になると思えますけれども、4月以降、年度が明けてから、どういう判断をするのですかという判断の時期が来ると思えます。その判断、どういうものになるかというのは、当然、現時点では全く分からないということになります。

○記者 検査報告書の取りまとめという段階についてはいかがなのでしょうか。

○黒川総務課長 そこも今後の議論になるところはありますけれども、基本的には、検査報告書の取りまとめと、その判断ですね。区分の見直しとか命令の解除の判断、それらがセットで年度明けのどこかで行われるのだらうと思えます。

○記者 これまでの方針と変えた理由というのは何かあるのですか。

○黒川総務課長　そこで大きくあえて変わったとは特には思っていないのですけれども、報告書をまとめるというのは言っています、当然、その報告書の内容次第でどういう判断にするかというのはありますので、それがいつと、年度内みたいに言っていたかもしれませんが、特に大きく変えたというような意識はないです。

○記者　ありがとうございます。

○司会　ほかに御質問はいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—